2019年度　練習船勢水丸運航計画

国立大学法人　三重大学

区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
４月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
		1901　宮崎・河村 水産生物学実習						1902　宮崎・船・名港水族館 研究航海①														1903　木村（妙） 研究航海②									
５月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
								1904　船 博士後期課程特別						1905　倉島 研究航海③								1906　田口・石川 海洋環境調査実習							（前泊）	1907　拠点単独 京都大学		
６月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
				1908　立花・山田・万田 陸海空・環境科学実習（1班・2班）																								1909　宮崎・小川（工学部） 研究航海④			
７月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
										夏期集中整備工事（於：松阪港）												1910　中村・三宅（北里大）・広瀬（北里大） 研究航海⑤						1911　SSH 高大連携①		
８月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1912　SSH 高大連携②					1913　拠点単独 四日市大学								一斉休業					1914　船 海洋総合航海実習（トロール実習）													
９月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
		1915　拠点単独 名古屋大学				環境科学A海に親しむ			1916　船			1917　船 乗船実習Ⅰ①				乗船実習Ⅰ②		1918　船	1919　船 乗船実習Ⅰ③					A B	C D	E F	G （FSC体験演習）				
１０月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	1920　金岩 海洋生物資源調査実習							1921　吉岡・森阪・船坂 海生哺乳動物学実習							1922　紀伊黒潮流域圏航海実習①								1924　倉島 研究航海⑥						1925　中村 研究航海⑦		
																1923　紀伊黒潮流域圏航海実習②															
１１月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	石坂（名大）																									1926　前川・下村（京都大） 研究航海⑧					
１２月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
					1927　竹内 研究航海⑨（クリティカル看護）																											
１月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
															2019年度　第二種中間検査および一般修繕工事															
２月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
																		1928　拠点単独 中部大学						1929　船 乗船実習Ⅱ・海洋観測航海実習①							
３月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
				1930　船 乗船実習Ⅱ・海洋観測航海実習②									1931　船 乗船実習Ⅱ・海洋観測航海実習③																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

航海計画は気象、海象等により変更になる場合があります。
乗船実習は海洋地球環境学乗船実習も含みます。
「地・社」とは、地域貢献および社会貢献を指します。
「管理」とは、修繕工事期間、検査工事期間、避難航海等を指します。
A～Gとは、松阪港停泊状態で実施予定のフィールドサイエンスセンター体験演習です。

平成31年2月25日　練習船運営委員会　承認
平成31年3月6日　教授会　承認